

【広告】

①

ホーム転落事故0へ。

「ひと声マナー」はじめよう。

②

こま お困りですか？

あぶ そちらは危ないですよ

てっだ お手伝いしましょうか？

だんさ 段差がありますよ

目が不自由な方の転落事故を防ぐために

- まずは声をかける。
- 黄色いブロックに物を置かない、立ち止まらない。

国土交通省 JAFRA (社)日本民営鉄道協会

JR東日本・JR東海・JR西日本・東武・西武・京成・京王・小田急・東急・京急・東京メトロ・相鉄・名鉄・近鉄・南海・京阪・阪急・阪神・新京成・北総・東葉高速・りんかい線・東京モノレール・横浜高速・埼玉高速・つくばエクスプレス・伊りかもめ・北大阪急行・東北高速・山陽・東京都交通局・横浜市交通局・名古屋市交通局・京都市交通局・大阪市交通局・神戸市交通局

エレベーターの優先利用にもご協力を

※【広告】の中の②には、ふりがなを付けてあります。

5

小島さんは、駅にはられていた、次の【広告】を見て、考えたことをノートにまとめました。

【小島さんのノートの一部】の **ア**・**イ** の中に入る内容として最もふさわしいものを、あとの1から3までの中からそれぞれ一つ選んで、その番号を書きましよう。

【小島さんのノートの一部】

この広告には、駅のホームで目が不自由な方に出会ったときに、声をかけることをすすめようとするねらいがある。

そのために、まず、①の部分では、広告の作り手が  
よびかけの表現を用いて大きな文字で示している。そのことは、  
をあたえている。

次に、②の部分では、①をもとに、実際に  
ことにより、広告を見る人が行動につなげやすくなっている。

（内容が続く）

- ア
- 1 広告を見る人に行動をうながそうとする
  - 2 目が不自由な方を勇気づけようとする
  - 3 疑問ぎもんに思ったことを報告しようとする

- イ
- 1 声をかけるときの順序
  - 2 声をかけるときの注意点
  - 3 声をかけるときの具体例